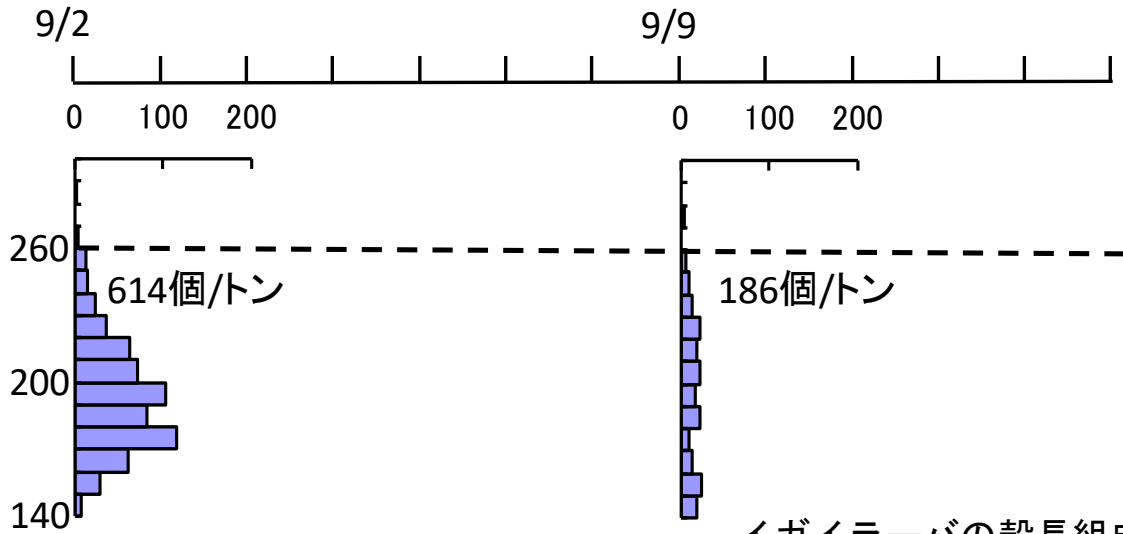


◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

サロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行いました。

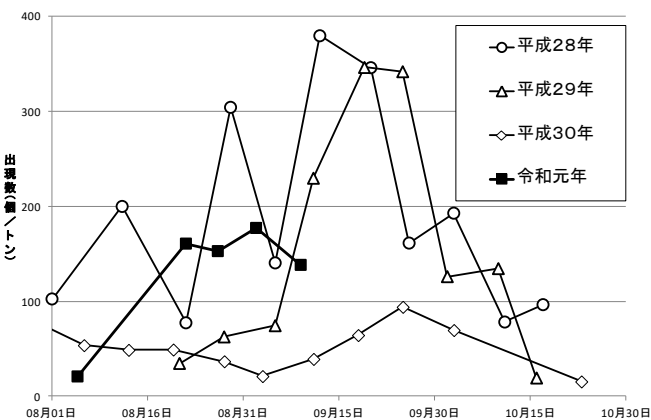
その結果、イガイ（シュリガイ）ラーバは180~230ミクロンを中心に平均で186個/トン出現しており、前回（614個/トン）よりも大幅に減少していました。付着サイズのラーバは2.8個/トン出現していました。



イガイラーバの殻長組成変化

ホヤ類（エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ）のラーバは平均で138個/トン出現しており、前回（177個/トン）よりもやや減少していました。

ホヤ類の出現状況



付着物ラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	2.2	31.1	11.1	22.6	16.8
150 ~ 160	8.8	42.4	18.5	22.6	23.1
160 ~ 170	19.9	8.5	22.2	0.0	12.6
170 ~ 180	13.3	11.3	7.4	0.0	8.0
180 ~ 190	28.7	19.8	14.8	22.6	21.5
190 ~ 200	28.7	8.5	14.8	11.3	15.8
200 ~ 210	24.3	5.7	11.1	45.3	21.6
210 ~ 220	26.5	11.3	29.6	0.0	16.9
220 ~ 230	26.5	5.7	33.3	22.6	22.0
230 ~ 240	6.6	17.0	11.1	11.3	11.5
240 ~ 250	6.6	2.8	11.1	11.3	8.0
250 ~ 260	0.0	0.0	11.1	11.3	5.6
260 ~ 270	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
270 ~ 280	0.0	0.0	0.0	11.3	2.8
280 ~ 290	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	192.3	164.1	196.0	192.4	186.2
200μ m以上	90.6 47.1%	42.4 25.9%	107.3 54.7%	113.2 58.8%	88.4 47.5%
260μ m以上	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	11.3 5.9%	2.8 1.5%
ホヤ類	36.5	311.4	116.6	89.2	138.4

付着物ラーバ関連調査地点図

